

元気いっぱい 友だちいっぱい
すくすく学ぶ たくましく学ぶ

横浜市立美しが丘小学校

令和4年8月29日



美小通信 5

横浜市情報教育ネットワーク(YY ネット)上に本校のホームページがあります。

URL : <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/utsukushigaoka/>

学校長 松瀬 歩

青葉区美しが丘2丁目29

電話(901)3408

特別支援教育

校長 松瀬 歩

「特別支援教育」とは、子ども一人ひとりの教育的ニーズを把握し、そのもてる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものです。

教育の多様化が進み、特別支援教育の重要性が高まっています。この夏も、特別支援教育の研修があり、参加しました。特別支援教育の研修を受けるたびに私が担任をしていたときにある親子から学んだことを思い出します。

私のクラスには怒りっぽいAさんがいました。Aさんが仲のよい友達と談笑しているときに些細なからかいからカッとなって、Bさんを押し倒してしまい、Bさんは頭部に怪我をしてしまいました。放課後、Aさんの保護者はすぐにBさん宅にAさん本人と共に謝罪に行きました。するとBさん保護者から意外な言葉をかけられたそうです。

「Aさん、ごめんなさいね。最初にうちの子がからかって、うちの子が悪いのに周りの友達からいろいろ言われたりいじめられたりしなかったか、それが心配で。明日からもうちの子と仲よく遊んでね。」

そして、Bさん本人からAさんに

「Aさん、ごめん。お見舞いに来てくれてありがとう。大丈夫だから、明日からも一緒に遊ぼう。」と声をかけられたそうです。

その日の夕刻、Aさん保護者が私に連絡をしていただく中で、こんなことを話してくれました。「今まで、いろいろなトラブルがあってそのたびにAと向き合って話してきましたが、Bさんの保護者からの言葉が今まででいちばんAの心に響いたようでした。こちらが怪我させてしまったのに、こちらの心配をしてくださるなんて私も・・・。」

そして、次の日、登校してきたBさんに周りの友達が心配して声をかけると

「怪我は大丈夫、昨日は俺が悪かったし、またみんなと一緒に遊ぼう。」

と気持ちよく話している姿を見て、Bさん親子から「特別支援教育とは何か」大切なことを学びました。

前期後半が始まりました。子ども一人ひとり個性があり、必要とする支援も一人ひとり違います。これからも子どもたちにとって大切なことは何かを家庭と学校が一緒になって考え、安心・安全な学校づくりに職員一同取り組んでまいります。

おねがい

お子さんが欠席したときの時間割・持ち物・宿題等の問い合わせの電話が多く、学校の電話がつながりにくい状態が続き、業務に支障をきたしております。つきましては、欠席後の時間割等について以下のようにしますので、時間割等のお問い合わせをお控えくださいますようお願いいたします。

○国語・算数だけ用意してください。それ以外の教科については学校で対応します。

○宿題はしなくて結構です。

○特別に必要な物があるときや、長期欠席の場合は、担任から連絡いたします。